

葛野だより

特別号

京都市立葛野小学校
令和5年2月28日
校長 大八木 智之

〒615-0882

京都市右京区西京極葛野町2

TEL:075-311-3510

FAX:075-311-3557



学校HPへは
こちらから

令和4年度後期学校評価を実施しました。保護者・地域の皆様、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

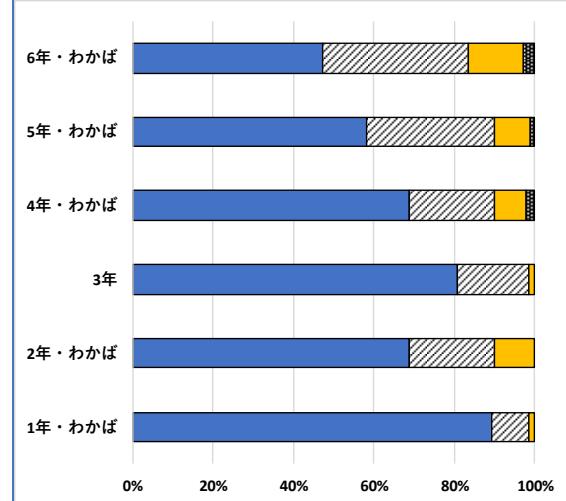
結果を分析・検討し、「今後の展望」としてまとめさせていただきました。ぜひ、ご一読いただき、今後の取組にご理解・ご支援いただきますようお願いいたします。今後も、「子どもが明日の登校を待ち望む学校」となるようさらに取り組んでいきたいと思います。

『子どもたちが明日の登校を楽しみにする学校』にむけて

【保護者アンケート結果】

■よくあてはまる	□ややあてはまる
■あまりあてはまらない	□まったくあてはまらない

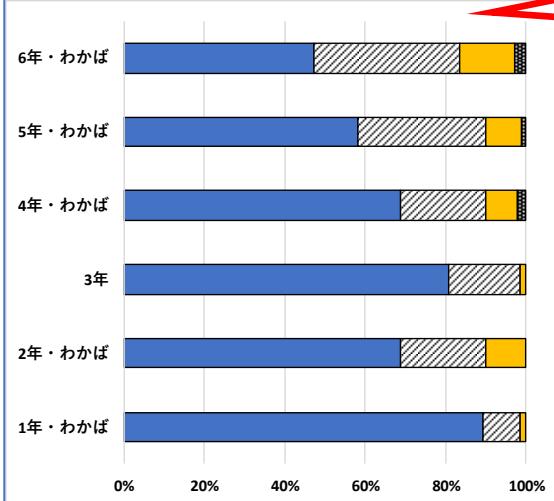
○楽しく学校に通っている。



【児童アンケート結果】

■できている	□だいたいできている
■あまりできていない	□できていない

○毎日、楽しく学校に通っている。



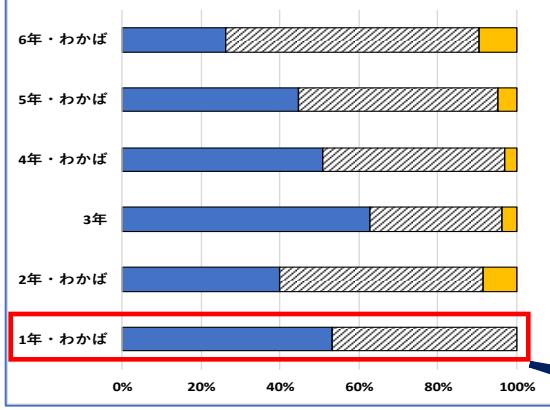
アンケートの結果をもとに、学習指導や生活指導に生かしていきたいと考えております。紙面の都合上、アンケートの集計結果をすべて掲載することができません。葛野小学校のホームページでは、全ての項目を掲載しておりますのでご覧ください。

学校が一番大切にしたい項目です。

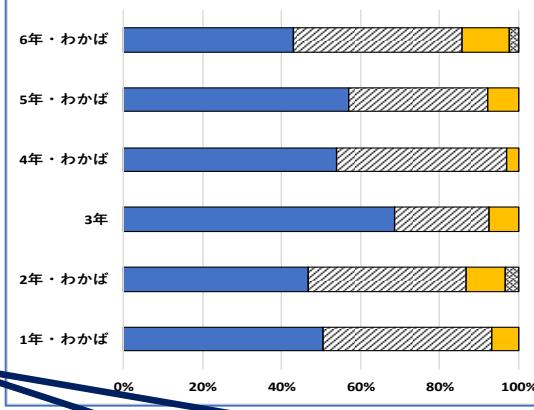
前期から保護者【±0%】児童【-2.6%】

『わかる授業』・『子ども理解』について【保護者】

○先生はわかりやすい授業を工夫している。



○先生は子どもをよく理解し、真剣に対応している。



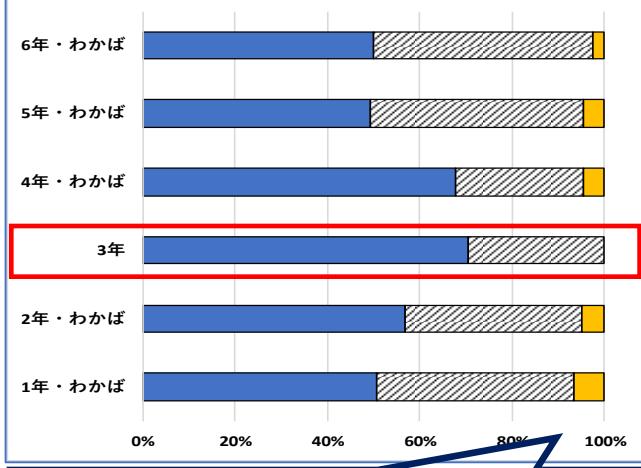
○学校は、人を大切にする教育に力を入れている。

どの項目も前期より高くなっています。
100%の学年もあります。

GIGAスクール構想が始まり2年。タブレットを活用した学習をどの学年でも充実させてきました。また、校長室前にできた「人権ロード」には毎月「思いやりブックフェア」として人権に関わる本を展示しています。休み時間には子どもたちがその本を取り、読む姿が見られます。子どもたちの心を耕す活動を大切に、「分かった・できた」を感じられる授業作りを続けていきます。

保護者・地域との連携について

○学校のようすを、学校だよりや学年だよりでよく知らせている。



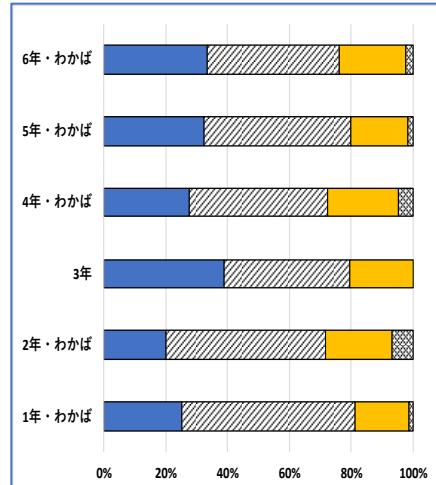
前期から保護者【+2.1%】

児童の日常の様子をお便りやホームページを通して紹介しています。ぜひご家庭での会話の1つにしてください。また、生活科や総合的な学習で地域の方や施設の方に大変お世話になりました。子どもたちは見学を通して葛野という地域の理解を深めたようです。児童が学んだことは、ホームページだけではなく、本校の昇降口にも掲示していますので来校の際、ぜひご覧ください。

家庭学習・読書の習慣化について

【保護者アンケート結果】

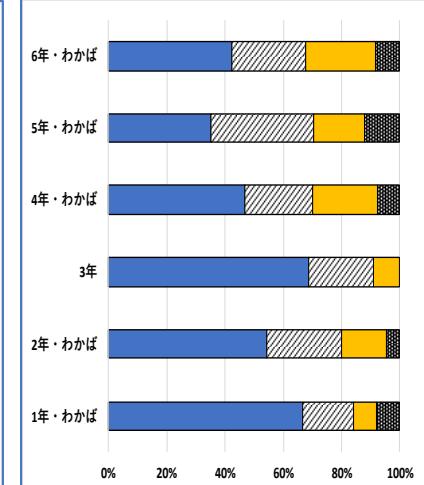
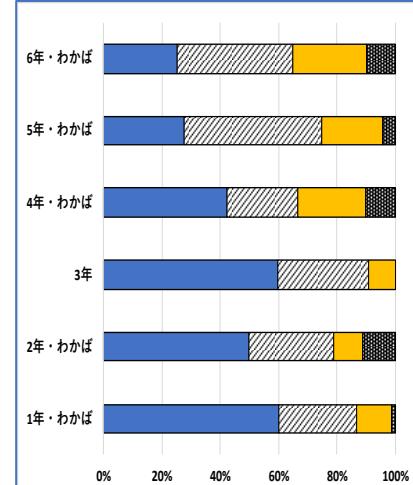
○家庭学習の習慣が身についた。○読書するようになった。



50%近くができないないと感じています。

【児童アンケート結果】

○家での勉強は、学年×15分できている。○本をよく読んでいる。

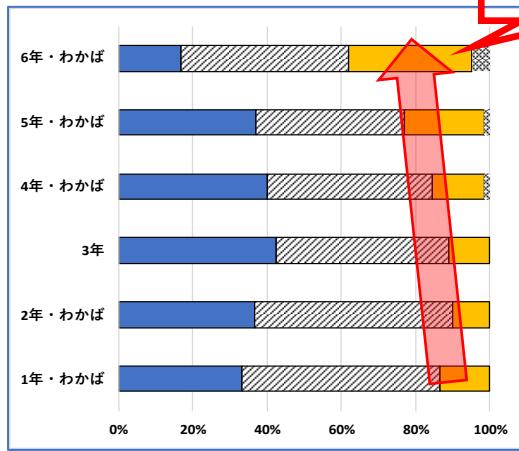


家庭学習については、取り組む時間も大事ですが、内容についても児童がしたいと思えるものにしなければなりません。GIGA 端末を活用した家庭学習など今後も検討を重ねていきます。また、読書時間は前期よりも落ち込んでいます。学校での朝読書など、読書時間において児童は読書に取り組んでいるものの、「習慣」には至っていないことが現状です。家庭での読書を図るために、家庭学習の際、時間があれば読書をしてみるなど読むための時間を確保していくことも大切です。活字に触れる時間と学力とは大きく関係しているという研究結果もあります。ご家庭での呼びかけもよろしくお願いします。

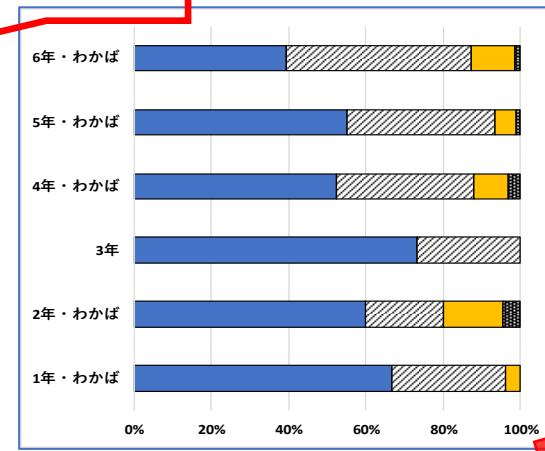
生活習慣について

【保護者アンケート結果】 【児童アンケート結果】

○子どもに早寝早起きさせている。 前期より[-4%]

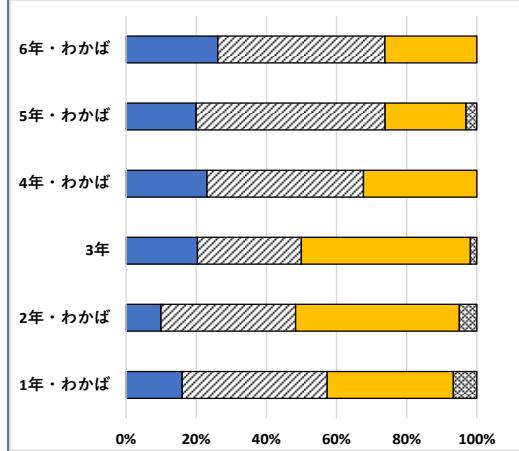


○早寝早起きできている

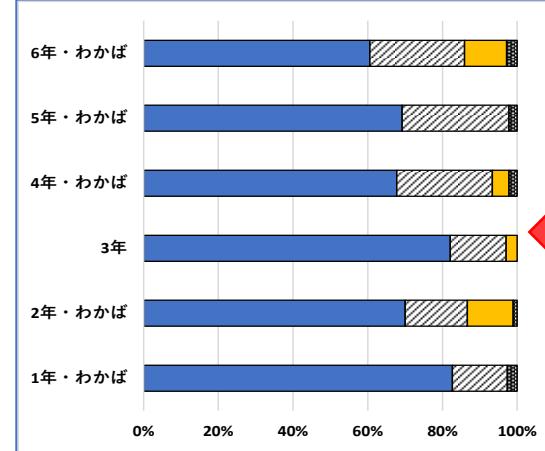


生活リズムについては学年が上がるにつれ乱れがちになっています。テレビだけでなく、スマートフォンやゲーム機器を夜遅くまで使用しているケースが見られます。また、ものを大切にするということについても保護者・児童ともに2%前後下がっています。児童アンケートでは、「自分で判断し、行動している。」と答えた児童が90%います。その力を生活リズムを整えたり、ものを大切にしたり、スリッパをそろえるなど「自分も他人も大切にする」行動へつなげていってほしいと考えています。

○ものを大切にするようになった。

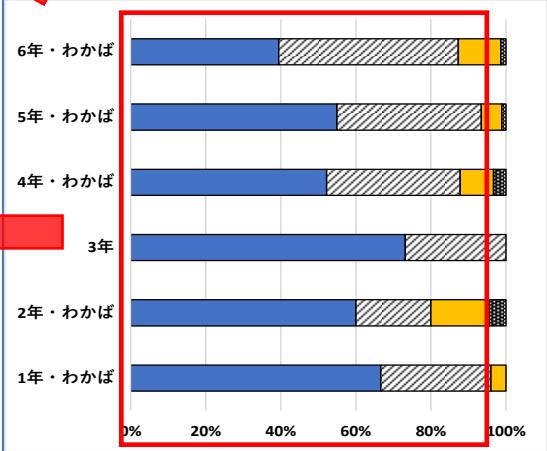


○自分の持ち物を大切に使っている。



前期より[+2%]多くの場面にいかすことができます。

○自分で判断し行動している。(児童)



来年度に向けて【今後の展望】

【一人ひとりの学力を高める】

- ◆日常の学びが実生活につながることを児童が実感できるよう、より一層授業改善に取り組みます。
- ◆家庭学習の習慣形成のため、ご家庭との連携を密に行い、より意欲的に学びに向かうことができるよう働きかけていきます。
- ◆GIGA 端末を積極的に活用し、多様な方法で学びを深めていくとともに、人と出会う、本物に出会う機会も大切にしていきます。

【人を大切にする子ども】

- ◆望ましい生活習慣形成のため、大人が手本を示していきます。そして、児童が自身の行動をマネジメントしていくことができる機会を設定します。
- ◆クラス間、学年間での交流を積極的に行うことを通して、自分も他人も大切にできる態度を育成していきます。
- ◆情報機器と上手く付き合っていくことができる情報活用能力の育成を行います。